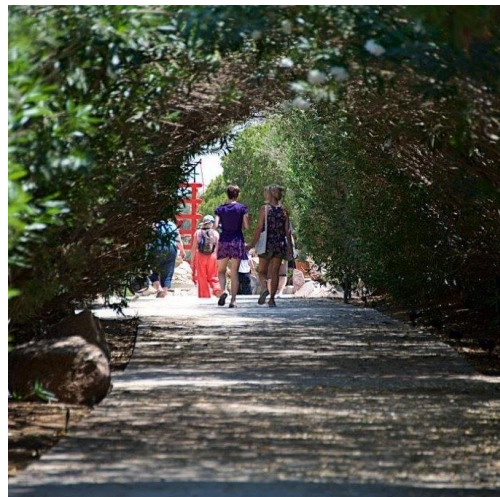


# INFOCUS

## NEWSLETTER

イン・フォーカス 2019年10月号



## 目次

- ・ ステップアップ・キャンペーン
- ・ ご参加ください！「Saying What We Mean (言わんとすることを言葉にする)」
- ・ キャサリンからの手記

### 特集記事

- ・ 理事会・新メンバーを歓迎します！
- ・ 理事会からのお知らせ ポーラ・ノウィック
- ・ 国際リーダーシップ評議会の最新情報 エヴェリン・フェンダー＝リー
- ・ TIFI メンバーシップ委員会の最新情報
- ・ 第4回フォーカシング指向心理療法中国会議
- ・ フランス・フォーカシング・サマースクール、「ジャルダン・アンテリユール」にて ベルナデット・ランボイ
- ・ フォーカシング対話シリーズ セルジュ・ブレンゲル
- ・ 開催されるコースとワークショップ



## ステップアップ・キャンペーン

国際フォーカシング研究所では、皆さんからいただいたサポートのおかげで、私たちはいくつもの大きなステップを踏み出してきました。私たちは2018年5月にステップアップ・キャンペーンをはじめましたが、皆さんのサポートは、私たちが次のような驚くべきステップを踏み出すのを助けてくれました。

- ・ 私たちはウェブサイトのベータ版（イニシャル版）を立ち上げました！
- ・ 私たちはジェンドリン助成金の第一号を授与しました！
- ・ 私たちはウィークロングをチリでおこない、フォーカサーたちに6件の奨学金を授与しました！

私たちはステップアップ・キャンペーンの第2期をはじめます。私たちが集めた基金は、次のようなことへの資金供給によって、私たちが地理的、経済的、言語的な障壁を取り除くのを助けてくれます。

- ・ 国際的な技術渉外担当者を雇う
- ・ より多くのライブ・イベントのストリーミング、ビデオ制作
- ・ ジャネット・クライン奨学金、その他の奨学金
- ・ 研究所のイベントで通訳者をさらに利用しやすくする

私たちは、ステップアップ・キャンペーンで推進力を起こしつづけることにわくわくしています。皆さんの[ご寄付](#)が、フォーカシングをよりアクセスしやすいものとしていく助けとなります！

(訳：久羽康)

[ページの先頭に戻る](#)

---

ご参加ください！

「*Saying What We Mean* (言わんとすることを言葉にする)」

ユージン・T・ジェンドリンの業績についてのアカデミック・シンポジウム

ジーン・ジェンドリンの重要な文献の一つを選び、プレゼンターがその文献に応答します。プレゼンターはアカデミック委員会によって招待されます。

すべての人をこのイベントにお招きします。料金や宿泊オプションを含め、参加登録の情報は近日中

にお知らせいたします。

## シンポジウムのインフォメーション

2020年10月23日～25日

メインとなるシンポジウムの日は、10月24日（土曜日）です。

プレ・イベントとポスト・イベントが、その前の金曜日の晩と後の日曜日におこなわれます。

ワシントン州シアトル、シアトル大学

このイベントは、国際フォーカシング研究所のユージン・T・ジェンドリン・体験的哲学と心理学リサーチセンターのおかげで実現しました。このイベントはシアトル大学の哲学・心理学部門の援助を受けています。

(訳：久羽康)

[ページの先頭に戻る](#)

## キャサリンからの手記

次の時代へ向けての準備をしたインスティテュートを作る

親愛なる友人へ

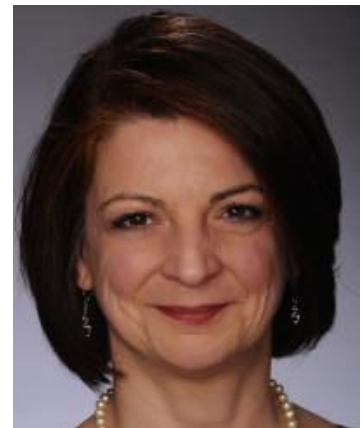
ここ5年の間、私たちは次の時代に向けて前進する準備をしたインスティテュートを作るために懸命に働いてきました。私たちはフォーカシングが世界中に知られることを望んでいます。「フォーカシング」や「エッジで考える」、そして「暗黙の哲学」を探し出すことのできる世界を準備するためには、私たちは“私たちの家を整理”しなければなりません。

これは多様な声にアクセスし、それらを活かす意思決定システムを構築し、維持することを含んでいます。

私たちの運営委員会と国際リーダーシップ評議会はメンバーを交代制にしている、これまでのところ(いろいろな時に)14か国から31名の人たちをメンバーとしています。私たちは戦略的な計画を立て、多様な委員会を持ち、授業をしたり、会議をリードしたり、あるいは他の方法で尽力する毎年100名を超すボランティアを有しています。

ここ数年、私たちは皆さんがより容易にお互いに連携するのを援助することに努力を傾けてきました。私たちは新しい技術を積極的に活用することを通して、私たちのプログラムにアクセスし入手できるようにしました。私たちは他の言語のプログラムを加え、これらの努力を拡大しようと熱心に取り組んでいます。私たちの[ステップアップ基金キャンペーンの第2期](#)では、中でも翻訳を提供する能力を向上させることを助ける寄付をお願いしています。そして、先日原稿を書いたときから、私たちはウェブサイトの“ベータ”バージョン(進行中)をスタートさせました。

国際的で多様な言語からなる組織として、私たちのウェブサイトは私たちみんなが会うことのできる場所です。私たちはこのウェブサイトにとってもとても野心的な目標を設定しています。今後数年間で、私たちはメンバーに提供することができるであろう多くの特徴の選択肢を提供します。私たちは皆さん



が、以前のウェブサイト（今もアップされている）と新しく、今作っているサイトの間移行時期に辛抱強くいてくれることに感謝しています。このウェブサイトが私たちが始めたときに構想した“私たちみんなの家”になるにつれ、インスティテュートがあなたにとってより良いサービスを提供し続けることに私たちは自信をもっています。

その間、私たちは私たちのミッションを拡大するより多くの方法を持っています。そして私たちは本当に[皆さんの援助](#)を必要としています。常に[メンバーシップ](#)を維持し、あなたのできる範囲での追加の寄付をお考えください。あなたはこのニュースレターでステップアップキャンペーンについてもっと読むことができます。

あなたがフォーカシングを全ての人にとってよりアクセスしやすいものにすることに貢献してくれることに感謝しています。

よろしくお祈りします。

キャサリン

(訳：酒井久実代)

[ページの先頭に戻る](#)

---

## 理事会・新メンバーを歓迎します！

理事会は、二人の新メンバーの任命したことをうれしくご報告します



ピーター・アフォードは、研究所のコーディネーターであり、30年以上にわたってフォーカシングを実践してきています。カウンセラー、心理療法家、スーパーヴァイザー、トレーナーとして、個人開業でも、研修団体や企業組織向けにも、仕事をしています。イギリスフォーカシング協会の創始メンバーでもあり、2016年にケンブリッジ大学で行われた、忘れがたい国際フォーカシング会議を運営した、素晴らしいイギリス・フォーカサー・チームの一員でした。



ネル・モフェットは、インナー・リレーションシップ・フォーカシングを学んできて、2010年に研究所から認定を受けました。彼女は25年間高等教育の場で、戦略的企画者、研究者、改革担当者、コーチ、組織内部コンサルタントを務めてきました。哲学と心理学の学位に加えて、教育指導と政策の博士号を取得しています。退職後は、宗教を超えた牧師や、ホームレスをなくす取り組みの理事として、世界に永続的な変化をもたらすことに献身しています。

理事会の仕事に加わる素晴らしい人たちを選定してくれた指名委員会に感謝します。

(訳：日笠摩子)

[ページの先頭に戻る](#)

---

## 理事会からのお知らせ

ポーラ・ノウィック 理事長



8月のミーティングで理事会は、任期満了になる二人の理事、スーザン・ルドニック（米）とダナ・ガニハー（イスラエル）の多くの貢献への感謝が伝えられました。お二人は3年の任期中、会員やプログラムやコーディネーターとの関係やコミュニティへの普及を拡大する政策を築くための大きな力となってくれました。お二人の知恵と仲間関係がなくなるのは残念です。

同時に、私たちは二人の新メンバー、ネル・モフェット（米）とピーター・アフォード（英）を歓迎し、理事会の人数は6人となりました。役員もそのミーティングで決まりました。

- ・ポーラ・ノウィック（米）理事長
- ・レスリー・エリス（カナダ）副理事長
- ・ハンスペーター・ミュレタラー（スイス）会計

研究所の優先課題の一つは、世界中のフォーカサーを歓迎し支援する創造的な方法を探索することです。数年前、フォーカシング研究所の名前は、国際フォーカシング研究所（TIFI）に変わりましたが、それは会員が多文化的であることを正確に反映するためです。その時以来、TIFIがどのようにすれば世界中でより効果的に機能できるかという点に関してたくさんの検討を重ねてきました。その目的のために、理事会は最近、全員一致で、国際的行事の後援に関して新しい方針を採用しました。

### 国際的行事の後援に関する新方針

国際的な組織として国際フォーカシング研究所（TIFI）は今後、後援する直接参加型行事は、国際的な参加者が集うものに限ります。（地域限定の会議についてはすでに予定されているものは支援を継続しますが、今後は、地域的な会議の企画には加わりません。）

世界 FOT 会議、フェルトセンス会議、そしてもちろん、上級および認定ウィークロング（「ウィークロング」）は、今までも TIFI の後援で行われてきました。他の会議に関しては、TIFI が深く直接関与していた場合もありましたし、それほど関与していない場合もありました。今後は私たちの注意をより積極的に、国際フォーカシング会議や国際子どもフォーカシング会議やその他、私たちの会員や関係機関が組織する主要な国際的会議（会議前後の行事も含めて）に向けるつもりです。そのような会議を組織したいと思う人はぜひ私たちに連絡を取ってください。協力的に取り組むための最もいい方法を見つけたと思います。

今私たちがぜひともお話ししたいのは、TIFI と協力して、国際フォーカシング会議を主催してもいいと思っている会員の皆さんです。それはあなたかもしれません、いかがですか？



心より

ポーラ・ノウィック

理事会についてもっと知りたい方は <http://previous.focusing.org/board> をごらんください。

(訳：日笠摩子)

[ページの先頭に戻る](#)

## 国際リーダーシップ評議会の最新情報

エヴェリン・フェンダー＝リー

(エヴェリンは ILC のメンバー。最近、「Thetaland」というタイトルのシンキング・アット・ザ・エッジ (TAE) のゲームを製作した)



国際リーダーシップ評議会 (ILC) は常に、TIFI メンバーと対話をし、情報を共有し、さまざまなトピックを議論したいと考えています。その目的を果たすために私たちは、いくつものオンライン・ミーティングを開催しています。これらのミーティングは参加者にとっては、お互いがつながる機会でもあります。

認定を受けている人たちは、コーディネーターが TIFI を通じて認定を出す権限を持つ人たちだと知っているでしょう。私たちはコーディネーターを、5月28日と7月23日におこなわれた私たちとのオンライン・ミーティングにお誘いしました。2つのミーティングに、31人の人が参加しました。イタリア、アメリカ、中国 (香港の人も)、ドイツ、ウルグアイ、ベルギー、フランス、カナダ、イスラエル、ペルー、メキシコ、チリ、グアテマラ、アルゼンチン、ギリシャ、そしてスペインから参加者がいました。私たちは (チャット機能経由で) 翻訳を提供し、すべての人が自己紹介できる時間を設けました。

### 試験的プログラムについてのミーティング

5月28日のミーティングの目的は、新コーディネーター任命のための試験的プログラムについて対話を持つことでした。この試験的プログラムは2017年の12月に発表され、少なくとも2021年の終わりまでは実施されます。このプログラムの最大の特徴は、コーディネーターとなるためのトレーニングのプロセスにおいて、少なくとも3人のコーディネーターを指導者とするということです。

参加者は試験的プログラムをやってみた体験を共有しました。トレーニング中のコーディネーター (CiT、以前はCNTと訳されていました) がより多くのサポートを受けられること、多様なフォーカシングのスタイルになじむことができること、そして彼らが国際的なフォーカシングコミュニティによりつながりを持つことができることが評価されました。一人のコーディネーターは、試験的プログラムはCiTがトレーナーのトレーニングをすることだけでなく、CiTが自分自身のスタイルと (自分の活動領域への) 具体的な適用の仕方を見つけるのをサポートすることにも関わっている、とコメントしました。彼はこのやり方が、サポートチームが援助をして新コーディネーターが自分独自のやり方でフォーカシングを進展させられるようにする上で重要だと感じていました。

試験的プログラムを始めてみての体験は、このやり方が良好で有益なものであることを示しています。ILCと我々が事務局長キャサリン・トーペイは、コーディネーターとCiT皆が、古いガイドラインを使

うというオプションを選ぶよりも、試験的プログラムを試してみるよう要望いたします。新しいガイドラインを恒常的な方法とする前に、より多くの体験を集め、さらに改善したいからです。

### 懸念取り扱い手順に関するミーティング

7月23日のコーディネーターとのミーティングの議題は、私たちが「懸念取り扱い手順 (Concerns procedure)」と呼ぶポリシーについてでした。[previous.focusing.org/lic](http://previous.focusing.org/lic) で、それに関する文書とさまざまな言語の翻訳版を見ることができます。この文書は、フォーカシング・プロフェッショナルの倫理規定の作成を検討してほしい、という要望から生まれたものです。最終版の文書は、国際フォーカシング研究所理事会から多くの意見を得つつ、ILCによって作成されました。プロセスとインタラクション・ファーストを尊重するために、私たちは厳格な「倫理規定」を持つのではなく、その代わりにプロセスを定めることにしました (検討の中で、私たちは部分的にジェンドリンの「プロセス倫理と政治問題」という論説を参考にしました。この論説は以下で読むことができます：

[http://previous.focusing.org/gendlin/docs/gol\\_2108.asp](http://previous.focusing.org/gendlin/docs/gol_2108.asp))

懸念取り扱い手順文書への参加者の反応は、全体的にとっても肯定的でした。加えて、参加者は興味深い考えや示唆を表明してくれました。多くの人が、この手順全体にフォーカシングが満ちていることを高く評価してくれました。何人かの人には、これが地域のフォーカシング組織にとって、そして他のフォーカシング以外の組織にとって、いいモデルとなりうることを示唆してくれました。衝突は物事をより正しいものとしていく機会であり、それは個人間だけでなくシステムにおいてもそうなのだという考えも出ました。

この文書は生きた文書のように思われます。懸念取り扱い手順は、それが実際の運用の中でどのように働くかを私たちが学んでいく中で、修正されていくことになるでしょう。

私たちは2つのミーティングの成果の豊かさに元気づけられています。また私たちには、コーディネーターの皆がお互いに会うのを楽しんでいることが感じられました。ですから私たちは、検討すべき特定のトピックについて対話することを続けていきたいと思えます。みなさんからのフィードバック、ありがとうございました。

ILC (国際リーダーシップ評議会) についてもっと知りたい方は、以下をご覧ください。

<http://previous.focusing.org/ILC>

(訳：久羽康)

[ページの先頭に戻る](#)

---

## TIFIメンバーシップ委員会の最新情報： フォーカシング・ラウンドテーブル（円卓会議）に 関する報告

スーザン・レノックス



TIFIメンバーシップ委員会の主な使命は、TIFIメンバー間のコミュニティに貢献したりコミュニティを立ち上げたりすることです。それを行う方法の1つは、毎月のフォーカシング・ラウンドテーブル（円卓会議）です。それは、さまざまなフォーカシング関連のトピックに関するオンラインでの会話の小グループです。フォーカシング・ラウンドテーブルはTIFIメンバーのための無料の特典であり、あなた方のメンバーシップに対する感謝であり、そして世界中のメンバーの間でコミュニティやつながりを作るためのプラットフォームなのです。

2016年10月のプログラム開始以来、40以上ものラウンドテーブルが提供されています。これらの集いに、多くの国からフォーカサーが集まりました。気軽に使えるピアツーピアの環境（訳注：パソコン同士が直接通信でつながっている環境）で、彼らは経験を共有し、お互いに関心のあるフォーカシング関連のトピックについて探求しました。参加者は地理的・文化的に素晴らしく多様で、全参加者のおよそ半数はアメリカ国外からの参加です。

私たちは、英語以外の言語でラウンドテーブルを提供するためにボランティアホストと協働することを特に嬉しく思います。その中で最も大きな広がりを見せたのは、2つのシリーズのイタリア語ラウンドテーブルです（全部で9つものラウンドテーブルがあります！）。2018年早期にはニコレッタ・コルセッティとフランチェスカ・カスタルディが見事にホストを務め、そして2018年11月から2019年4月までは、マリア・テレサ・ベルジニオ、ブリジット・モレッティ、オルガ・パスクイーニ、アゴスティーノ・マンニ、ロレンツォ・サルヴィ、パトリツィア・ボナカがホストを務めました。

初のドイツ語のラウンドテーブルを作ってくれた、ハンスペーター・ミュルターラーとドナタ・シェーラーにも感謝します。スペイン語のプログラムは、マリアナ・ピスラによってコーディネートされたカフェシート・プログラムで定期的に提供されています。私たちは他にも多言語や異文化交流のラウンドテーブルも検討しています。そちらにもどうぞご期待ください。

メンバーシップ委員会は、毎月ラウンドテーブルを提供することを続けていく予定です。

2019年の残りの期間に、今のところ予定されているラウンドテーブルは、：

10/20 - 「フォーカシングとコーチング (Focusing & Coaching)」

10/30 - 「難民とのワーク (Working with Refugees)」

11/15 - 「フォーカシングに関する研究 (Research on Focusing)」

私たちは来年最初の第一四半期に向けてのプログラムを計画することに熱中してです。今までのところ、「意図的フォーカシング (Focusing on Purpose)」、「自然なポーズ (間) (The Natural Pause)」、「異言語フォーカシング (Cross-Lingual Focusing)」などがあります。もし、あなたがラウンドテーブルのための話題を提供したい場合は、[membership@focusing.org](mailto:membership@focusing.org) に提案を送信してください。私たちは特に英



語以外の言語によるプログラムのアイデアを歓迎します。

### 「今後のコースとイベント」のコーナーで探してください

今後のイベントに関する情報については、私たちのウェブサイトの「コースとイベント」のページをご覧ください。ラウンドテーブルは、各イベントの約1か月前にオンラインで申し込みをするためのページが掲載され、TIFI データベース内のすべてのメンバーにメールで通知が送信されます。

<https://focusing.org/events> を訪れ、ラウンドテーブルのロゴを探してください。何が開催予定かを知り、申し込むことができます。



何年もの間、ラウンドテーブルを作り、ホストを務めることに時間を費やしてくださったすべてのボランティアの方々に特別に感謝します。そのうちの何名かは、複数のプログラムでホストを務めてくださいました。

ブルース・ネイヨウイス、ブルース・ギブス、ジョセリン・カーン、アンドリュー・マクドナルド、カレン・ウォーレン、ハインケ・デローシュ、フランチェスカ・カスタルディ、ウェンディ・マウラー、ハンスペーター・ミュルターラー、クリステル・クラフト、ポーラ・ノウィック、アナスタシア・ブレンシック、ジャック・ブラックバーン、レスリー・エリス、ロブ・フォックスクロフト、クリスチャン・ジェリケ、スーザン・ラドニック、ジョアン・ラベンダー、パメラ・カー、ジュリアン・ミラー、デイヴィッド・スミス、ニナ・ジョイ・ローレンス、メアリー・ジェニングス、タイン・スウィンジェドー、メアリー・エレイン・キエナー、ジェーン・クウェイル、ヘザー・ロジャース、シンシア・コールセン、ジャン・ホグマン、マリアナ・ピスラ、フランチェスカ・カスタルディ、ニコレッタ・コルセッティ、デイヴィッド・ローム、ドラリー・グリンドラー・カトナ、ソフィー・グリクソン、ジュディ・スタイン、アナ・ズニック、ローラ・バヴァリクス、ラム・アイゼンバーグ、ダナ・ガニハル、キャロル・イヴァン、ロバート・リー、ドナタ・シェラー、ベアトリス・ブレイク、ジム・アイバーグ、ケビン・クリッカ、ローズ・スポジット、マリア・テレサ・ベルジニオ、ブリジット・モレッティ、オルガ・パスキューニ、アゴスティーノ・マンニ、ロレンツォ・サルヴィ、パトリツィア・ボナカ、セルジオ・ララ、ルース・ハーシュ、アグネス・ウィンドラム、アンソニー・ウィニスキー、モニカ・ゴメス・ガラス、ビヴィアン・シルバ、アーノルド・ゼマン、ベス・マーラー、セルジュ・プレングル、ジョアン・カルロス・メシアス、サルバドール・モレノ・ロペス

ありがとう、ありがとう、あなた方すべてにありがとう！

(訳：松尾秀寿)

[ページの先頭に戻る](#)

---



## 第4回フォーカシング指向心理療法（FOT）中国会議 ジュ・ヨンウェイ



世界各地におられるフォーカサーの皆さま こんにちは！

2019年11月8日～10日に中国の美しい街・上海において、第2回アジア・フォーカシング国際会議と第4回フォーカシング指向心理療法中国会議が開催されることを皆さまにお伝えできることは、私にとって大変嬉しいことです。

今回の催しのテーマは、「フォーカシングとアジア文化」です。主催は中国華東師範大学心理及び認知科学学院および華東師範大学、協賛は、南嘉（上海）文化コミュニケーション有限会社、後援は、上海心理学会臨床心理及び心理相談監督専門委員会と上海心理学協会です。

アジアの国々（日本、韓国、香港、台湾）や他の世界各地からのフォーカサーたちが参集する予定です。テーマはフォーカシングとアジア文化、フォーカシングと伝統、心理相談におけるフォーカシングの応用、フォーカシングと人間性心理療法、フォーカシングとメンタルヘルス、フォーカシングと哲学、そしてフォーカシングと現象学などで、それぞれの分野での探求が行われます。また、コミュニティ、学校、高齢者の健康、児童の心理的発達の領域で、いかにフォーカシングの臨床運用を広め深めていくかについても討論が行われます。

現時点で、フォーカシング指向セラピー界で著名な以下の方々が、会議中及び会議前後のプレゼンテーションやワークショップ実施に同意してくださっています。

### 池見陽博士（日本）

日本フォーカシング協会の初代会長、  
『傾聴・心理臨床学アップデートとフォーカシング  
感じる・話す・聴くの基本』の著者

### アン・ワイザー・コーネル博士（米国）

フォーカシング界の著名な学者  
『臨床現場のフォーカシングー変化の本質』の著者

### キャレン・ホウェイレン博士（カナダ）

関係性ホールボディ・フォーカシングの共同創案者

百武正嗣教授（日本）

前日本ゲシュタルト療法学会会長

ロバート・リー博士（米国）

ドメイン・フォーカシング（ダイナミック・クロッシング）の創案者

土江庄司氏（日本）

フォーカシングにアートを取り入れる多様な技法の創案者

吉良安之博士（日本）

セラピスト・フォーカシングの創案者

カヒン・ピーター・チェン博士（香港）

フォーカシングと風刺モデルの統合の開拓者

なお、ワークショップの詳細は、追って発信される予定です。

国際会議、体験的ワークショップへの参加申し込みをなるべく早くしていただきますようお願いいたします。全体プログラムの詳細は以下のサイトでご覧いただけます。

<http://www.asiafocusingconference2.com/index-en.html>

人間性心理学、フォーカシング哲学、身体的気づきに関心のある方々、心理カウンセリングや心理療法を行っている同業者の方々、全ての方にご参加をお誘いいたします。

中国において、人間性心理学、フォーカシング指向心理療法が健全に発展していくために、2019年の11月、皆さまに上海でお目にかかり、活発な学問的交流ができますことを楽しみにしています。私たちは中華文化を持つこの土壌でフォーカシングが花開いていくことを心から願っています。

フォーカシング愛好家の皆さまのお越しを上海でお待ちしています！

どうぞよろしくお願いいたします。

ジュ・ヨンウェイ

中国在住のフォーカサー、ILCメンバー

コーディネーター・イン・トレーニング

2019年9月

この記事の英訳をしてくださったグローリア・ラウ・ピュイ・ワーさんに感謝いたします。

（訳：前田満寿美）

[ページの先頭に戻る](#)

---



## フランス・フォーカシング・サマースクール 「ジャルダン・アンテリユール」(「内なる庭」、フランス・アルデシュ)にて ベルナデット・ランゴイ、コーディネーター

私たちはこの23年間毎年、7月のはじめに5日間のフォーカシング・サマースクールを開催してきました。これはフランスのフォーカシング・コミュニティの50人から60人ぐらいのメンバーが集まる素晴らしい時間です。各年の参加者の中には、フォーカシングを知るために来る人もいれば(参加者の3分の1強がそうです)、トレーニング中の人、また新鮮なアイデアを探究するためフォーカシング的な環境に戻ってくる古顔もいます。



今年私たちは大変うれしいことに、国際フォーカシング研究所の事務局長、キャサリン・トーペイを迎えることができました。彼女のプレゼンスや、彼女が私たちの活動に示してくれる積極的な関わり、一方でまた動的な思慮深さや、私たちのいつも生き生きとした「情熱 (Folies)」に彼女の「Joie de Vivre (人生の喜び)」があることが、私は本当に好きです。今年はまだ、イタリアのコーディネーターであるブルーナ・ブランディーノを迎え、いくつかのワークショップを提供していただきました。アルゼンチンのカロライナ・アデスもです。私たちは皆、嬉しいことにメキシコの国際会議でもお互いに会うことができました。

このサマースクールは、花咲く庭に小さな池とラウンジエリアという牧歌的な背景の中でおこなわれ、会合を持ったり、発見をしたり、シェアをしたりする場として、とても優れた機会です。スイミングプールとアルデーシュ川で涼むこともできます。私たちはここに内なる庭を耕すためにやってきます。この環境はそれをするのにいい場所です。それは私たちを迎え入れてくれる穏やかなところで、同時にシンプルです。食べ物は健康的でおいしい菜食料理です。フォーカシング的態度はワークショップの中でも外でもそこにありました。いい気分と笑いが私たちのワークに明るさの音を与え、それは時に私たちを揺り動かし、強い感情を喚起しました。

今年のテーマは「直感の言葉：フォーカシングを通じて第6感に耳を傾ける」でした。多数のワークショップがこの直感に触れ、フェルトセンスを通じて明らかにしました。俳句、バッチフラワーセラピー、道化、OSHO 禅タロット、自己への旅、ホールボディ・フォーカシングとオーセンティック・ムーブメント、インテュイティブ・ツリー、自然とのふれあいなどです。40以上のワークショップが提供され、12人のファシリテーターが自分の専門領域についてシェアしました。はじめての人には、会期全体を通じてフォーカシングのアプローチを学ぶワークショップがありました。私たちはこの連続するワークショップを「赤い糸」と呼びました。でももちろん、寄り道をして他のワークショップに加わることもでき

ます！

私は長年にわたって、私の同僚であり元夫であるジェラルド・ランボイとともにサマースクールをオーガナイズすることに大きな喜びを感じてきました。サマースクールは、フランスや、フランス語が話されているスイスやベルギーにおいてフォーカシングを教えることに「句読点を打って」きました。去年の私たちのテーマは「フォーカシングと東方の伝統」でした。別の年には私たちはコミュニティ間のつながりを構築するために、自分たちのコミュニティの外から専門家を招きました。マリーヌ・フレマンヴィルや、パトリシア・マネシー、フィリップ・フノート、フランシーヌ・バージェロン（みなカナダからです。私たちはフランス語を好みますので！）、そしてルネ・ヴェジェラース（オランダ）、マカレナ・ロペス（スペイン）、そして私が忘れてしまったに違いない他の人たちも。

もしフォーカシングが、私たちの感じ方ですが、その価値に応じただけのスペースを占めてはいないとしても、私たちは少なくとも、私たちが世界の内にいることを意識することに貢献してきたと思いますし、私たちの生き生きとしたプレゼンスは、世界をより穏やかで啓発されたものとして発展させる役に立ちます。私はジェンドリンにとっても感謝しています。キャサリンにも、国際的なコミュニティとの強いつながりを促進してくれることに、ありがとう。

（訳：久羽康）

[ページの先頭に戻る](#)



### フォーカシング対話シリーズ

セルジュ・プレングル

今月の対話では、サルバドール・モレノが発見と驚きの旅を語ります。

[ここから聴くことができます](#)



### 開催されるコースとワークショップ

世界中のフォーカシング・コミュニティから届いた、近々開催されるイベント情報に触れることができます。

[私たちのウェブサイトのイベントのページにどうぞ](#)

開催されるイベント情報やフォーカシング・プロフェッショナルを探すなら、[www.focusing.org](http://www.focusing.org) にどうぞ。フォーカシングをもっと学ぶには、[前のウェブサイト](#)にどうぞ。